

Distorted Drug Evaluation 歪められる医薬品評価

——産官学連携への警鐘——

—— Whistle Blowing in the Powerful Government-Industrial-Academic Complex ——

●参加費無料 ●事前申込不要 ●同時通訳付

第1部 利益相反問題 — 米国・EU・日本からの報告

- **ピーター・ルーリ** Peter Lurie (米国)
パブリックシチズン ヘルスリサーチグループ 副ディレクター
- **クリストフ・コップ** Christophe Kopp (EU)
プレスクリール・インターナショナル 編集長
- **水口真寿美** Masumi Minaguchi (日本)
薬害オンブズパーソン会議 事務局長

第2部 徹底討論！ 利益相反問題・薬害防止

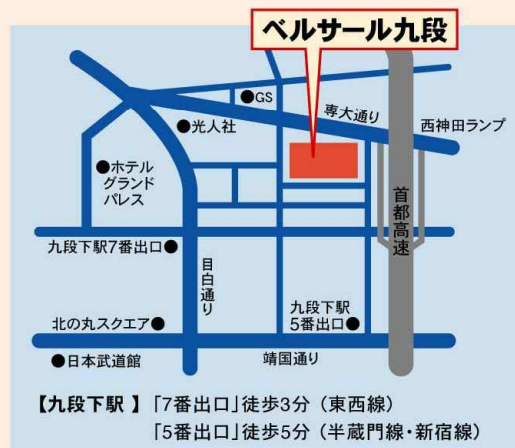
コーディネーター **鈴木利廣** 薬害オンブズパーソン会議代表
別府宏暉 医薬品・治療研究会代表

2008年6月8日(日)

13:00~17:00

ベルサール九段(ホール)

東京都千代田区九段北1-8-10 住友不動産九段ビル3F



歪められる医薬品評価

Distorted Drug Evaluation

——産官学連携への警鐘——

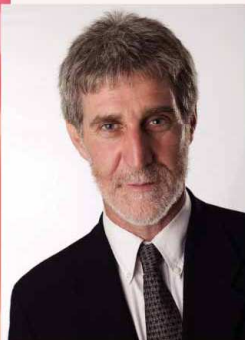
—— Whistle Blowing in the Powerful Government-Industrial-Academic Complex ——

第1部 利益相反問題 — 米国・EU・日本からの報告

「産官学連携」がもてはやされている。その一方で利益相反が医薬品評価を歪める危険性が指摘されている。日本では規制のためのルールづくりが始まったばかりだが、先を行く米国やEUの現状はどうか？ 課題は何なのか？

利益相反問題を初め医薬品監視に取り組み、規制当局に対しても絶大な影響力をもつ米国とEUの代表的組織から、ゲストを招いて報告を受ける。

日本からは薬害オンブズパースンが報告する。



ピーター・ルーリ

Peter Lurie

パブリックシチズン
ヘルスリサーチグループ 副ディレクター



クリストフ・コップ

Christophe Kopp

プレスクリール・インターナショナル
編集長



水口真寿美

Masumi Minaguchi

薬害オンブズパースン会議 事務局長

第2部 徹底討論！ 利益相反問題・薬害防止

利益相反問題だけではなく、くりかえされる薬害の原因と医薬品監視のあり方について、たっぷり時間をとって、会場の参加者とともに、第1部の報告者が討論する。

会場発言用スタンドマイクの前に列ができたあの薬害エイズ裁判和解10周年記念シンポジウムの続きをやろう！

【コーディネーター】



別府宏暁

医薬品・治療研究会代表



鈴木利廣

薬害オンブズパースン会議代表